

川徳百貨店 環境報告書 2021



暮らし開拓 川徳2021

<目次>

- P1.....快適な環境を考える百貨店として
- P2.....環境保全活動の振り返り(1)
- P3.....環境保全活動の振り返り(2)
- P4.....当社の主なエネルギー消費と排出
- P5.....環境目標の達成状況
- P6.....クールビズ・ウォームビズフェアの開催
- P7.....スマートラッピング(1)
- P8.....スマートラッピング(2)
- P9.....食品ロスの削減
- P10.....省エネ
- P11.....引き取りキャンペーン
- P12.....社会貢献活動
- P13.....環境マネジメントシステム

快適な環境を考える百貨店として

◆ 会社概要

*会社名	株式会社 川徳	*事業所	・パルクアベニュー・カトリク /盛岡市菜園 1-10-1
*創業	慶応 2年 (1866年)		・アネックスカトリク /盛岡市緑が丘 4-1-50
*設立	昭和 27年 (1952年)		・Cube-II /盛岡市菜園 1-8-15
*代表者	代表取締役社長 川村宗生		・外商ビル /盛岡市菜園 1-8-21
*事業内容	百貨店業		・カトリク宮古 /宮古市大通 4-5-9
*資本金	5,000万円		・川徳商品センター/紫波郡矢巾町流通センター南 2-4-19
*売上高	201億円 (2019年度)		
*従業員数	352名 (2020年4月現在)		

◆ 持続可能な開発目標

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)は、2015年9月の国連サミットで、持続可能な社会を実現するために採択された17の国際目標です。川徳はSDGsへの取組みを強化して参ります。



環境方針

基本理念

川徳は、「奉仕こそわがつとめ」という社是のもと、常に新しい価値の提案、高質なサービスの提供を目指し、お客様にとって最良の店づくりを通じ、地域、社会へ貢献することが私たちの役割だと考えています。

また川徳は、事業活動のあり方を地球環境や地域環境の視点から見直し、「快適な環境を考える百貨店」として、環境保全活動に積極的に取組み、更なる改善を推し進めます。

行動指針

1. 当社の事業活動、商品及びサービスによる環境影響に対して適切に対応するために、環境目標を設定して達成状況のチェックと定期的なレビューを行い、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善をはかります。
2. 地球環境や地域環境の保護に配慮した取組みを積極的に行い、汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応に努めます。
3. 省エネ、省資源、廃棄物の削減及び3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進、環境配慮商品の開発・販売、エコ包装の推進、グリーン購入など環境負荷の少ない事業活動に努めます。
4. 環境に関連する法規制、地方条例、当社が同意した業界の自主的行動計画などを順守し、適切な環境管理を行います。
5. 従業員一人ひとりの環境意識と力量の向上をはかり、自らが積極的に行動を起こす人材の育成に努めます。
6. 環境方針は、当社で働く、又は当社のために働く全ての人に周知させるとともに、利害関係者が入手できるようにします。

制定：2002年12月17日

改訂：2005年5月1日

2016年9月1日

株式会社 川徳

代表取締役社長 川村宗生

環境保全活動の振り返り（１）

年代	主な環境活動
1991年(平成3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易包装シールで「ノー包装」を推進
1992年(平成4年)	<ul style="list-style-type: none"> ・紙袋に再生紙使用 ・中元・歳暮カタログやチラシ等で簡易包装のPRを実施
1994年(平成6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易包装機を商品センターに導入
1999年(平成11年)	<ul style="list-style-type: none"> ・検品・納品代行による物流システム導入 ・ハンガーリサイクル開始
2000年(平成12年)	<ul style="list-style-type: none"> ・社用車にハイブリットカー1台を導入 ・新女子制服(冬服)に再生ペット素材を使用
2001年(平成13年)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルエコバッグ「アースシンフォニー」を発売 ・広告用印刷紙に再生紙とSOY(大豆)インキ使用 ・用度仕入において再生製品の文房具類を拡大
2002年(平成14年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「アースシンフォニー」(地球との調和)運動を実施 ・環境方針制定
2003年(平成15年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際規格ISO14001認証取得 ・「エコハンドブック」第1版を発行、全従業員に配付 ・環境配慮商品「カワトク・エコライン」の販売開始 ・環境Navi(廃棄物計量管理システム)導入 ・食品階にて資源ごみの店頭回収を開始 ・魚腸骨、割り箸、廃プラハンガーなどリサイクル品目拡大
2005年(平成17年)	<ul style="list-style-type: none"> ・買物袋、包装紙の店頭回収実施 ・ISO14001の2004年度版移行に伴い、環境マネジメントシステムを再構築
2006年(平成18年)	<ul style="list-style-type: none"> ・パルクアベニュー・カワトクにBEMS(ビルエネルギー・マネジメントシステム)導入 ・「エコショップいわて」の事業所として認定 ・「いわて地球環境にやさしい事業所」として4つ星認定 ・機密文書溶解処理リサイクル実施とともに、リサイクル可能型新シュレッダーを導入
2007年(平成19年)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境報告書の発行、公開 ・第1回地域とはじめる環境報告会を開催
2008年(平成20年)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル新エコバッグ販売 ・LED等の省エネ効果の高い照明への切替え促進(毎年継続して計画実施) ・「減クルマ」チャレンジウィークに参加(岩手県公共交通利用推進協議会主催)
2009年(平成21年)	<ul style="list-style-type: none"> ・アネックスカワトクで使用済蛍光管の店頭回収開始 ・紳士スーツ、靴の引取りキャンペーンを実施
2010年(平成22年)	<ul style="list-style-type: none"> ・パルクアベニュー・カワトクの空調機を高効率ヒートポンプチラーに切替え ・環境月間に社員参加の取り組み「私のエコな約束」自己宣言を実施 ・卵パックの店頭回収開始とともに、リサイクルコーナーに店頭回収実績公表 ・包装紙、買物袋などに植物油(ベジタブルインキ)を使用
2011年(平成23年)	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災発生以後、店内照明の間引き実施
2012年(平成24年)	<ul style="list-style-type: none"> ・アネックスカワトク食品階の冷蔵ケース設備を全面入替 ・キューブⅡの空調機の全面入替と室外機更新 ・両店で使用済小型家電と、パルクアベニュー・カワトクで使用済蛍光管の店頭回収開始
2013年(平成25年)	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員中途採用者の入店者研修に環境教育のスケジュール化 ・社用車に電気自動車1台、小型電気自動車2台導入 ・アネックスカワトク館内の基本照明である蛍光灯をLED照明に切替え

環境保全活動の振り返り（2）

年代	主な環境活動
2014年(平成26年)	<ul style="list-style-type: none"> ・アネックスカワトクの空調機を高効率ヒートポンプチラーに切替え ・環境配慮商品「カワトク・エコライン」をホームページのショッピングサイトにアップ ・温暖化防止いわて県民会議事業者部会の取り組みで、“ECOアクション賞”を受賞 ・震災以降消灯していたネオン広告塔が点灯されたことによりライトダウンキャンペーンに参加 ・パルクアベニュー・カワトク館内の基本照明である蛍光灯をLED照明に切替え
2015年(平成27年)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度エネルギー管理優良事業者等東北経済産業局長表彰を受賞 ・「かしこい交通ライフ」チャレンジウィークに参加（岩手県公共交通利用推進協議会主催）
2016年(平成28年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001の2015年版移行に伴い、環境マネジメントシステムを再構築 ・カーボンオフセット付お中元用品を販売
2017年(平成29年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「エコショップいわて」優良取り組み店舗として、パルク店・アネックス店が7回目となる特別表彰を受賞 ・「COOL CHOICE できるだけ1回で受け取りませんかキャンペーン」に参加（環境省）
2018年(平成30年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「いわて地球環境にやさしい事業所」の4つ星認定（3年毎）、4回目の更新 ・国際規格ISO14001（2015年版）、5回目の更新
2019年（令和元年）	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止いわて県民会議より、令和元年度「ECOアクション賞」を受賞 ・岩手県より、令和元年度「岩手県環境保全活動表彰」を受賞 ・カワトクオリジナル折りたたみエコバッグを販売
2020年（令和2年）	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック製のレジ袋を植物由来のバイオプラスチック製に切替え、有料化開始 ・「エコショップいわて」の優良取り組み店舗として特別表彰受賞

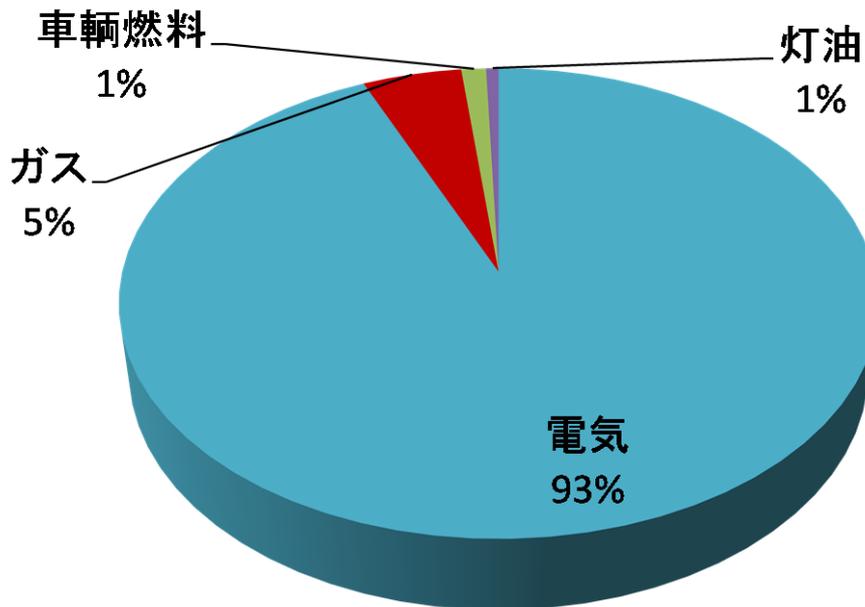


◆ 令和2年度「エコショップいわて」特別表彰を受賞！

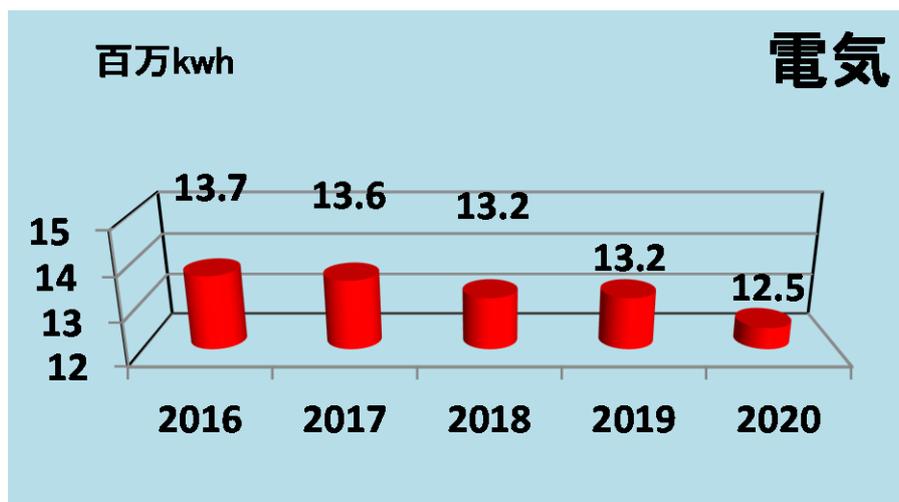
2021年1月18日、「エコショップいわて」優良取り組み店舗として、特別表彰（主催：岩手県、いわてNPOフォーラム 21）を受賞しました。特別表彰は、ごみの減量・リサイクルの推進に関し先駆的な取り組みを進め、顕著な実績を収めるなど他の認定店の模範となる特に優れた取り組みを行った認定店等から選定されます。

当社の主なエネルギー消費と排出

当社が使用しているエネルギー（二酸化炭素に換算した場合）



過去5年間の電気使用量の推移



当社が1年間で使用している電気使用量は標準家庭の2,978世帯分に相当する。
(標準家庭：東北電力管内 350kwh/月、30アンペア、年間4,200kwh)

環境目標の達成状況



◆ 2020 年度の主な目標と結果

2020 年度は、前年度までの結果を踏まえ、当社から発生する CO₂ 排出量の約 93%を占める電力使用量などの目標設定を行い、様々な環境活動に取り組みました。

項目	環境目標	2020 年目標	2020 年実績	達成率	評価*
省エネルギー・省資源	電力使用量を基準年 H14 年比で 24.1%の削減	4,050kwh/h	4,075 kwh/h	98.4%	△
	買い物袋の払出重量を基準年 H24 年比で 11.1%の削減	53.5 t	41.9 t	127.6%	○
リサイクル削減・リサイクル向上	廃棄物最終処分量を基準年 H15 年比で 54.8%の削減	343.0 t	263.6 t	130.1%	○
	廃棄物資源化率 60%	60.0%	61.0%	113.8%	○
環境配慮の商品等の	エコライン(環境配慮商品)登録数の拡大	650 点	387 点	59.5%	×

*評価 達成率 100%以上：○ 達成率 98%以上：△ 達成率 98%未満：×

◆ 2021 年度からの主な目標値

2021 年度は、継続的な電力使用量の削減や地域産品のエコライン商品登録推進などの目標設定を行い、環境活動に取り組みます。

項目	中期環境目標	2021 年度目標	2022 年度目標	2023 年度目標
省エネルギー・省資源	電力使用量を 2023 年度までに 26.9%削減する。 (基準年度：2002 年度)	4,000 (kwh/h) (基準年度比 25.1%削減)	3,950 (kwh/h) (基準年度比 26.0%削減)	3,900 (kwh/h) (基準年度比 26.9%削減)
	容器包装の買い物袋使用量を 2023 年度までに払出実績で 13.6%削減する。 (基準年度：2012 年度)	53,000kg (基準年度比 11.9%削減)	52,500kg (基準年度比 12.7%削減)	52,000kg (基準年度比 13.6%削減)
リサイクル削減・リサイクル向上	廃棄物の最終処分量を 2023 年度までに 55.8%削減する。 (基準年度：2003 年度)	340,000 kg (基準年度比 55.2%削減)	337,000 kg (基準年度比 55.6%削減)	335,000 kg (基準年度比 55.8%削減)
	廃棄物リサイクル率 60%を維持する。	リサイクル率 60.0%	リサイクル率 60.0%	リサイクル率 60.0%
環境配慮の商品等の	地域産品の開発に努め、エコライン商品の登録を推進していく。	500 点	550 点	600 点

クールビズ・ウォームビズフェアの開催



◆ クールビズフェア



「日傘」による暑さ対策



夏の快眠フェア



夏のおすすめアイテム



マスクステーション

◆ ウォームビズフェア



ぽかぽかベスト・パットシート・毛布他



ウインターフェスタ

スマートラッピング (1)

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



◆ カワトクオリジナル折りたたみエコバッグ

容器包装の削減を目指し、環境負荷の低減に向けたカワトクオリジナル商品として、保冷温バッグを作製し、年間販売しています。



小さく折りたたむことができます。

◆ お買物袋 (FSC認証紙使用)

お客様へ提供している買物袋・角底袋はFSC認証されている紙により、作製しています。
* FSCとは、適切な管理が行われ、社会的な利益にかなない、かつ経済的にも継続可能な森林管理を推進することを目的として設立された団体です。日本語では森林管理協議会と言います。

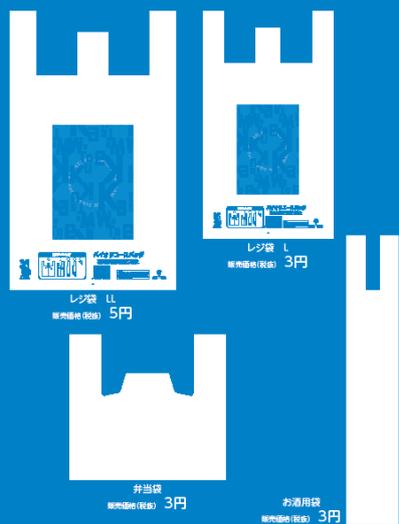


◆ バイオマスプラスチック製レジ袋

レジ袋は環境に配慮した、植物由来の原料を含んでいるバイオマスプラスチック素材を使用しています。

7月1日よりレジ袋が有料になります。

プラスチック製レジ袋は環境に配慮した
バイオマスプラスチック素材に切り替えてまいります。



スマートラッピング (2)

◆ 簡易包装



<過去の中元・歳暮期の簡易包装率>

年度	中元	歳暮
2020年度	78.8%	84.0%
2019年度	80.4%	82.0%
2018年度	80.2%	83.3%
2017年度	79.9%	81.5%
2016年度	80.1%	82.8%

◆ 容器包装廃棄物の減量強化月間（10月）の取り組みを実施！

盛岡市では、「3R推進月間」である10月に、「盛岡市における容器包装廃棄物削減への取組に関する協定」（平成28年2月締結）に基づき、市民・事業者・行政が容器包装廃棄物の削減及び分別に向けた意識を共有し、容器包装廃棄物の発生の抑制、資源化の取り組みを周知し、市民の意識向上を図っています。当社ではマイバッグ持参の呼びかけなどによるマイバッグ普及の取り組み、商品のばら売りや簡易包装の実施、店頭回収の推進などを行っています。



盛岡市職員によるレジ袋辞退率調査を実施しました。

レジ袋辞退率 75人辞退/100人中



食品ロスの削減



◆ 「食品ロス削減月間」(10月)の取り組みを実施!

「食品ロス削減月間」の一環として、10月28日(水)、パーク店店頭において、岩手県・盛岡市によりお客様へのチラシ配布等により周知活動を実施しました。



家庭でのおいしい食べきりキャンペーン
おいしく 楽しく 食べきろう
 10月は「食品ロス削減月間」 10月30日は「食品ロス削減の日」

めぐるちゃん (岩手県産食材) エコロル (環境にやさしい) ぽんちゃん (食品ロス削減)

- 1 食材は必要な分だけ 購入する!
- 2 料理は食べきれる分量で 調理する!
- 3 消費期限^{※1}と賞味期限^{※2}を確認する!

※1 消費期限 期限を過ぎた食品は、ゆでたり、焼いたり、加熱調理して食べてください。
 ※2 賞味期限 おいしく食べられることができる期間

知っていますか? 「食品ロス」

「食品ロス」とは、まだ食べられるにも関わらず廃棄されている食品のことです。
 日本における食品ロスの排出量は、年間約612万トン(H29年度実績)であり、国民全員が毎日お茶碗1杯分(約132g)の食べ物を捨てている計算となります。

今起2年10月30日 お問い合わせ先: 岩手県環境生活部資源循環推進課 019-629-5367
 盛岡市環境部資源循環推進課 019-626-3733

◆ フードバンク岩手へ協賛

フードバンク岩手へBCP(事業継続計画)の備蓄品等を提供し、食品ロスの削減に努めています。

フードバンク岩手では市民・企業の皆様からお預かりした食料品を、岩手県内の生活にお困りの方へ支援機関を通じ無償の食糧支援を行い、早期の生活改善につなげる活動をしています。



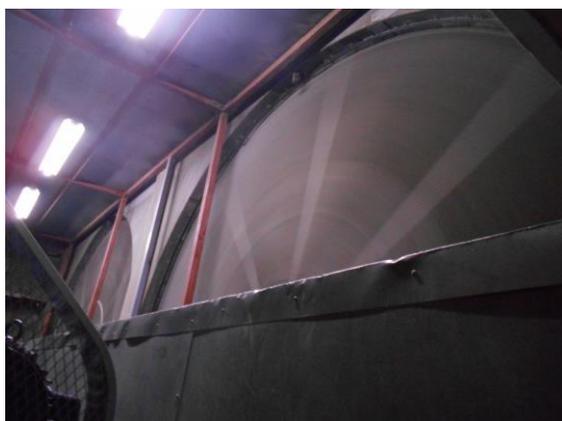
フードバンク岩手の事務所内・倉庫

省エネ

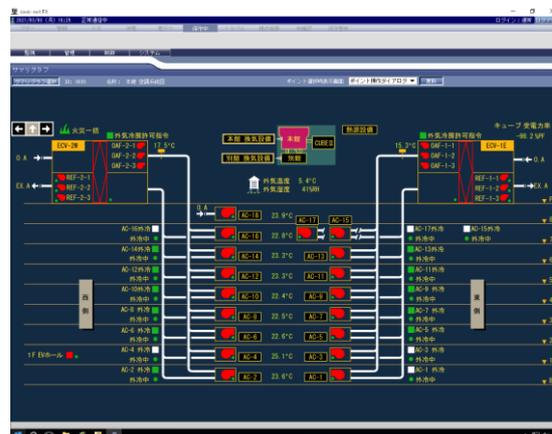


◆ 全熱交換器による省エネ

パルク店の屋上に設置している全熱交換器は、店内の換気に当たって、排気と給気のあいだで熱を交換して空調のエネルギー効率を高めています。また、BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）により、店内温度を一定に保っています。



全熱交換機内のロータエレメント



BEMS

◆ 店内温度管理

夏季と冬季には、店内温度緩和の取り組みとして、総務と施設管理担当者が各フロアを巡回し、店内温度や湿度の実測による検証をしています。（省エネパトロール）また、季節ごとに基準温度を設定して売場責任者と施設管理との連携を密にし、適切な温度管理に努めています。



◆ 節水洗浄装置の活用

パルク店の客用・従業員用トイレ64台に、2018年8月から節水洗浄装置を設置しています。

従来型の装置を使用した場合の使用水量に比べて半分以上、節水ができている結果となっています。



引き取りキャンペーン



◆ ビースリー

「パンツDEエコキャンペーン」

ご不要になったパンツをエコクーポンと引き換えしています。

期間：2020年7月3日～8月31日



◆ 「ワコールブラリサイクル」キャンペーン

回収したブラはおもちゃや生活雑貨などのパーツに生まれ変わります。

捨てる。ではなく、新しく生かす。

期間：2020年10月1日～2021年3月31日



◆ フォンテーヌ「緑の森キャンペーン」

お客様から不要となったウィッグを回収（他社品を含む）し、クーポン券を進呈しています。

期間：2020年9月1日～12月31日



◆ オンワード・グリーン・キャンペーン

ご愛用いただいたオンワードの衣料品をオンワードメンバーズポイントと交換します。ご提供いただいた衣料品の一部からリサイクル毛布や軍手を生産し、日本赤十字社の協力のもと、世界の被災地支援などに活用します。

期間：通年



社会貢献活動



◆ 復興支援イベント

被災者らの手作り品を販売する「岩手発手しごと絆フェア」と三陸の名品を販売する「りあすぱーくマルシェ」は1月16日から12日まで、パーク店において行われました。盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校などの協力により、22団体が出店しました。



南部鮭加工研究会



山ぶどうのオリジナルマスク
糸ばた工房



木の器
サワクラフト

◆ ピンクリボン運動の呼び掛け

2020 いわてピンクリボンフェスタが、10月、「乳がん撲滅月間」として行われました。ピンクリボン運動は、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える啓発運動であり、乳がん検診50%（全国平均36.2%、岩手の受診率40.6%）達成をめざしています。（主催：いわてピンクリボンの会、共催：岩手県、協力：当社他）



環境マネジメントシステム

◆ISO14001 認証取得状況

認証取得日 : 2003年6月27日
 登録更新日 : 2018年6月27日
 登録証番号 : JQA-EM3255
 審査登録機関 : JQA (一般財団法人 日本品質保証機構)
 登録範囲 : 百貨店における活動全般



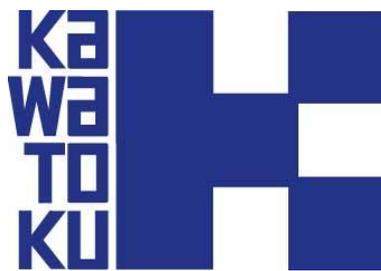
JQA-EM3255

◆環境マネジメントシステムの適用範囲

事業者：株式会社 川徳
 所在地：岩手県盛岡市菜園 1-10-1
 活動範囲：百貨店における活動全般（請負業者が川徳に常駐して行う委託業務を含む）
 関連事業所：下表のとおり（活動範囲|同上）

サイト		住所	サイト特性	対象人員
パークアベニュー カワトク	パークアベニュー カワトク	盛岡市菜園 1-10-1	百貨店	全ての従業員
	別館	盛岡市大沢河原 1-4-25	オフィス・駐車場	〃
	C u b e - II	盛岡市菜園 1-8-15	専門店ビル・駐車場	〃
	外商ビル	盛岡市菜園 1-8-21	オフィスビル	
アネックスカワトク		盛岡市緑が丘 4-1-50	郊外型ショッピングセンター	〃
カワトク宮古		宮古市大通 4-5-9	サテライトショップ	〃
川徳商品センター		岩手県紫波郡矢巾町 流通センター南 2-4-19	物流センター	〃

※「カワトク宮古」は、ISO14001:2015 規格の環境マネジメントシステムの認証適用範囲から除外



<お問い合わせ>

株式会社 川 徳 総務部CSR担当

〒020-8655 岩手県盛岡市菜園一丁目 10 番 1 号

電話(019)-651-1111(代表)

URL <http://www.kawatoku.com/>

E-mail : iso@kawatoku.com